

耐酸性 断面修復モルタル材

# 「なおしタル AR-M」

「NAOSHITARU AR-M」

「なおしタル AR-M」は、使用時に所定量の水を加え、練り混ぜることにより使用できる、左官工法用耐酸性断面修復モルタル材です。耐硫酸性に優れており、下水道施設、温泉施設等、硫酸による化学的腐食を受ける構造物の補修用モルタルです。

## 特長

1. 硫酸浸漬後の質量変化率および硫酸浸透深さが小さく、耐硫酸性に優れています。
2. 左官工法により、簡易に施工が可能です。

## 用途

- 下水道施設の補修
- 温泉施設の補修
- 硫酸の影響を受ける構造物の補修

## 仕様

1袋あたりの練上り量			1㎡あたりの使用量		1回の可能施工厚さ (垂直面) (mm)
「なおしタル AR-M」 (kg)	水 (kg) ※1	練上り量 (ℓ)	「なおしタル AR-M」 (kg)	水 (kg)	
25	4.0	約13	1925kg (25kg×77袋)	308	約20

※1 練り混ぜ水は、環境温度等により変動します。1袋あたり3.7～4.3kgの範囲を目安にご使用ください。

## 施工方法

1. 施工する面は必ず粗面処理を行い、油分、粉分を取り除き、プライマー等を用いて吸水調整をしてください。
2. 上裏面(天井面)および20mmを超える施工厚さの場合は、剥落防止対策の検討をしてください。
3. 鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行ったのち施工してください。
4. 「なおしタル AR-M」の練混ぜは、ハンドミキサまたはパン型ミキサを用い、練混ぜ時間120～180秒を目安に練混ぜたのち、左官工法で施工してください。
5. 施工後は必ず適切な養生を行ってください。風等の影響を受けた場合、施工後数時間で表面に乾燥ひび割れが発生する場合があります、その場合は、養生剤の散布をお勧めします。



なおしタル AR-M 28日間  
15% 硫酸浸漬後 質量変化率：-20.9%



市販断面修復モルタル材 28日間  
15% 硫酸浸漬後 質量変化率：-51.8%

## 物性試験例

試験項目		規格値※2	試験結果
フロー値(15打後)	(mm)	—	163
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	25以上	40.9
	材齢28日	45以上	82.7
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	3.0以上	5.8
	材齢28日	7.0以上	9.7
接着性 (N/mm <sup>2</sup> )	材齢28日	1.5以上	2.3
長さ変化 (%)	材齢28日	-0.1以上	-0.10
耐酸性(5%硫酸28日間浸漬)	質量変化率 (%)	±10以内	-5.3
	硫酸浸透深さ(mm)	3.0以下	2.1
耐酸性(15%硫酸28日間浸漬)	質量変化率 (%)	—	-20.9
	硫酸浸透深さ(mm)	—	3.6

※2 日本下水道事業団 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル【断面修復用モルタルの品質規格】

## 包装形態

25kg 入 防湿袋

本製品は、株式会社デイ・シイのOEM製品です。試験データは「耐酸セラモルタルS」のデータを使用しています。

### 使用上の注意事項

1. 使用前に、必ず、安全データシートを読み、取扱う。
2. 練混ぜ水量は、環境温度、施工部位、施工方法により決定する。  
また、市販の無収縮グラウト材に比べて、硬く見えるので注意する。
3. 本製品を使用するときは、飲食・喫煙をしないこと。
4. 取扱い後は、手を良く洗うこと。
5. 保護手袋・保護メガネ・防塵マスクを着用すること。
6. 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
7. 眼に入った場合は、水道水で15分以上洗うこと。コンタクトレンズを着用して、容易に外せる場合は外す。
8. 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合は、水道水で洗浄すること。
9. 発疹が生じた場合は、医師の診察、手当を受けること。
10. 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
11. 保管は、直射日光を避け、湿気のない室内に保管すること。
12. 内容物、容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## なおしタル工法研究会



### 株式会社ニューテック

本 社 〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9  
コンクリート試験所 TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687  
URL <http://www.kknewtech.co.jp>

福岡営業所 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王1-16-26  
筑紫センタービル208号室  
TEL 092-409-6700 FAX 092-409-6701